

地域医療連携室ニュース

発行 公立阿伎留医療センター

編集 地域医療連携室

TEL 042(558)0321

FAX 042(550)5190

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりまして、ありがとうございます。

本年も、急性、亜急性期疾患を担う中核病院として、近隣医療施設との密接な連携を保ち住民と病む人が満足できる安心、安全、かつ納得の頂ける質の高い医療サービスを提供できる医療センターを目指したいと思っておりますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。

今回の地域医療連携室ニュースNo.18では、眼科のスタッフと診療業務内容を松木奈央子医長から紹介させていただきます。

眼科のご案内

診療案内

眼科外来は午前一般外来診察を、午後は視野検査、蛍光眼底造影検査などの予約検査やレーザー、霰腫腫切開、涙点プラグ挿入術などを行っております。

一般外来は角膜、結膜、水晶体からぶどう膜炎、緑内障、網膜硝子体疾患、外傷など幅広く対応しています。

手術は白内障を積極的に行っています。基本的に入院の手術であり、入院期間は通常両眼だと5日間、片眼だと3日間です。現在は申込後2 - 3ヶ月後の手術となります。

重症度の高い疾患、手術適応のある網膜硝子体疾患などに関しては、近隣の医療機関や杏林大学病院などと協力して治療を進めております。

また、眼底疾患の網膜動脈硬化症、糖尿病網膜症は近隣の内科医療機関と情報提供させて頂き地域医療の向上に努めています。特に進行した糖尿病網膜症は蛍光眼底造影検査、光学的干渉断層計(OCT)といった精密検査を施行し、網膜光凝固術や黄斑浮腫へのケナコルトテノン嚢下注射等の治療を行っています。

手術実績

平成20年1月から12月までの白内障手術件数は264件、レーザーは網膜光凝固術95件、レーザー虹彩切開術17件、後発白内障切開術31件でした。

医療スタッフ



松木奈央子医長

診療担当医表

常勤の松木奈央子医長と、非常勤の山口靖子医師、井之川宗右医師、國田大輔医師、五月女典久医師、高橋清喜医師の6名です。

日本眼科学会、日本手術学会、日本白内障学会等に所属し、その知識や技能に基いた治療を行っています。

また、2名の視能訓練師が検査を担当しています。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
担当医	松木奈央子 井之川宗右	松木奈央子 國田 大輔	松木奈央子	山口 靖子	五月女典久
手術日				手術日	

医師の人事異動について

採用	常勤	リハビリテーション科長 (回復期リハビリテーション担当)	岡田 真明
平成 22 年1月1日付			
退職	常勤	歯科口腔外科長	荻野 靖人
平成 21年12月31日付	常勤	副院長	柴田 昌彦
	常勤	回復期リハビリテーション担当部長	江上 格
	常勤	歯科口腔外科長	山下 千穂

1月の医局講演会、講演会のお知らせ

日 時	1月28日(木) 17時半から
会 場	地下1階講堂
演 題	未定(改めて医師会の先生方にはご案内します。)
講 師	柴田昌彦(元副院長)
参加費	無料

11月の紹介患者数をご報告致します

FAXによる紹介は113件、紹介状持参による紹介は254件、合計367件でした。CT・MRIの検査のFAX紹介は36件でした。ご紹介誠にありがとうございました。

なお、FAXの申込時間は、『FAX受診申込書』で、9時から16時30分になっております。

公立阿伎留医療センター宛専用の情報提供書、封筒等用意しておりますので、御用命の節は、下記担当者までご連絡をお願い致します。また、地域医療連携に関するお問い合わせについても、担当者がお受け致しますのでご連絡下さい。

地域医療連携室長 西成田 進 担当責任者 茅野 和子

電 話 番 号 042 - 558 - 0321 (内線2123)